

# みえDOYU

2010年度 テーマ  
次の時代に向けた変化の一步を踏み出そう!

~新しいこと始めてますか?~

<http://www.mie.doyu.jp/> E-mail [mie-doyu@eos.ocn.ne.jp](mailto:mie-doyu@eos.ocn.ne.jp)

VOL 315 2011. 2. 1

広報責任者 水谷彰宏

〒510-0066

四日市市南浜田町 2-14

水谷ビル3F

TEL 059(351)3310

FAX 059(351)9362

## 激動の1年、新たな企業価値の創造を!

“変化の1歩”の実践交流を大いに語りましょう

今回の第29回定時総会は、4月22日(金)に湯の山温泉の希望荘で開催されます。今回の総会ではお互いの経営を十二分に語り合い交流する事を目的として開催します。そのため、宿泊する事を前提として開催し、「自社がこの1年でどう変わったか」を夜まで大いに語り合います。

### 自社の強みを見つめ直し、時代に合った強みへ変化を

今、大きく時代が変化しようとしています。今までのビジネスモデルや価値観が変化してきており、これからの時代に合わなくなってきました。三重同友会では今年度「次の時代に向けた変化の1歩を踏み出そう!」をテーマに活動してきましたが、今回の総会ではその総括として、各社が取り組んだ変化の1歩を交流し、その1歩を発展させ新たな自社の強みへとしていくきっかけにするために開催致します。

記念行事では、(株)希望荘の山本社長と(株)サノプランニングの佐野社長のお2人から、それぞれの地域戦略とその戦略をどう企業の強みにしているかを報告いただく予定です。

旅館が顧客層を地域顧客に変えることのように変わってきたのか、また、飲食店が

限られた地域内に多店舗展開する事でどう変わってきたのか。形は違えど地域に重点を置き経営するこの2社の共通点を探ります。今回の記念行事ではパネルディスカッション形式でお2人からその経営の要点を引き出していく予定です。

また、今回の懇親会では少し趣向を変えまして、懇親会でバズセッションを行ないます。地域戦略を実践するお2人の報告を聞いた上で、食事をしながら大いに本音で語り合う予定です。懇親会後も各部屋に分かれて時間を気にせず「自社がこの1年でどう変わったか」を思う存分語り合います。



### 第29回定時総会開催要項

日時:平成23年4月22日(金)

会場:希望荘

内容:(1)第29回定時総会

(2)記念パネルディスカッション

(3)記念パーティー

参加費:10,000円(1泊2食付)

パーティーまでの場合6,000円

## 支部例会だより

中勢支部 1月例会

テーマ

### 『仏教からみた海図なき日本と 少子高齢化 - その光と闇 - 』

講師 : 梅林久高氏

高田中学校高等学校 教頭

真宗高田派正念寺住職 輔講



(梅林氏)

中勢支部 1月例会は真宗高田派正念寺住職輔講、また高田中学校高等学校の教頭先生である梅林久高様にお話を頂戴致しました。ちなみに輔講(ほこう)というのはお坊様の位で上から2番目という

事です。

学校法人と民間企業との相違点・共通点は多々ありますが、大変興味深いお話を分かり易く拝聴する事が出来ました。

まず、冒頭から内憂外患の日本。国際社会では負の外交、格差社会の極化、経済不況、無縁社会・・・と闇の部分の多さ。更には少子高齢社会問題。しかし逆に光の部分もあり、日本は文化が健全である事。それと、高齢者の方々に元気がある方が多いという事です。

今現在、フリーターと呼ばれる人は110万人、ひきこもりは70万人だと言われており、労働意欲の希薄な若者が多い様です。そんな中、学校でも問題は山積みしている様で、その一つに、モンスターペアレントと呼ばれる親からのクレーム対応があります。クレーム対応では、まず聞く事に専念し、何故そうなったのか背景を考え、お互いが納得するよう話合っ、一つ一つ解決しているそうです。教師と生徒・保護者との関係、これは、我々と同じく信頼関係が大切です。『信頼関係は築くのは大変だが、壊れるのは一瞬である。』そのため教師の方々には、他の生徒がいる中では大声で怒るような事はしないよう、ご指導

されているそうです。信頼関係の問題は弊社においても最重要課題です。お客様・従業員・地域住民との共存を大切に、また、より良い教育で優れた人財を育て、更には、そういった若者に選ばれる会社作りに専念したいと思いません。

モリノマシナリー(株) 森本 鉄也

南勢支部新春例会

テーマ

### 『2011年経済の展望と経営課題』

～ 新年例会 ～

講師 : 石川裕史氏

(有)MC経営センター 代表取締役



(石川氏)

「先のことは誰にも分からない、悪い材料もいい材料もいっぱいありすぎて・・・」

私たち南勢支部の新年例会は、毎年恒例となっている石川会計事務所の石川先生に講演をお願いし、今年の経済や経営環境について

お話をいただきました。

「今年の景気は？」の問いに経済学者も大手企業経営者も毎年版で押したように「今年の前半は厳しいけども、後半には良くなる」と言いますが、残念ながら毎年前半の悪さは的中するのですが後半はよくならずにずると日本のGDPは伸び悩んだままになっています。つまり、結局半年先のことは誰にも分からないということになります。それを石川先生に解説してもらおうというのもムチャな話だと思ったので、今回は少し趣向を変えて身近な中小企業、特に石川先生の知り合いの企業や顧問先の前向きな取り組みの現状も発表していただきました。するとやはり皆さんマクロな経済の話よりも身近な中小企業の話のほうが面白いらしく、話を聞くその熱意がひしひしと伝わってきました。

「どこまでしゃべるか？」

しかしこの話に関しては石川先生も大変

だったと思います。当然顧問先に対する守秘義務というものもあるでしょうし、それ以上に“どこまでしゃべるか？”という重大な問題があり、これは我々三重県中小企業家同友会の最大の強み「自らの経営を語る」を考えたときに常に議論になることなのです。自らの経営を語る場合当然いいときも悪いときもあるわけで、悪い話は自らしたくはないし、又いい話は同業者には当然聞かれたくはないし、お客さんの名前は言えないし、結局話がありきたりのものになってしまい、経営者が本音を語りづらくなるのです。従って私たちは簡単に「経営を語る」と言いますが、本当に経

営者に本音を語ってもらうには私たち聞き手が襟を正して緊張感を持って聞くことが必要となってくるし、場合によっては入場規制(同業者お断り等)が必要となってくることもあるのかもしれませんが。

いずれにしても今回の石川先生の話は我々同友会の「経営の語り方」を考える上でとても参考になるものであり、緊張感のある熱気を帯びた例会となりました。石川先生には今回無理をお願いし、その話の端々にその苦悩が見え隠れしていましたが、これに懲りずに又来年もお願いします。

(株)大王運輸 天白拓治

## 『復活!! 会員訪問日記』

### ～看板業界には未来がある～

今回訪問させていただいたのは、桑名支部の株式会社金星堂です。リーマンショック以降、当然の様に不景気の波が看板業界にも襲いかかり、必死に営業を行っても価格が高いと言われ業績が伸び悩み始めたようです。そのような状況の中でも小笠原専務は「看板業には未来がある」と言われます。今回お話をいただいた中で、どのように改革を実行されてきたかをご紹介します。

最初の改革は、設備投資を行い、本社機能を一新し、看板取り付けを外注し、看板作製・加工を行なうようにしたことです。本社を各営業所の下請けの様にすることで、看板が設置されるまでの課程で、一番付加価値を付けることができる部分を自社で行なうことができ、利益を生み出す仕組みを作れるようになりました。しかし、今まで取り付けを主に行っていた職人が、看板製作をすることになるのでから当初猛反発があったようです。そこで小笠原専務は取り付け業から作成業に移行することで生じる利益を職人一人ひとりに具体的な数字で示し納得させました。今となってはいい商品を作りたいという考え方を持っている職人たちは、自発的に動き始めているそうです。

次の改革はお客様のコストダウン要求です。これについては仕入れを考え直さなければならず、海外に目を向けるようになりました。海外で安い材料を仕入れて日本で加工するという方法をとるのですが、まだまだこちらの要求レベルのものは仕上がってこず、改善が必要だそうです。

しかし、海外に目を向けたことで、気付いたことがあったそうです。それは、日本の看板の作り方が世界とは違うということです。海外と日本それぞれの作製工程を説明していただいたのですが、明らかに海外の方が簡単に作ることができます。日本とは使用している材料などの違いがありますが、この看板作製の方法を知ったことで、新たな営業提案につながってくるはずだと言われていました。待っていればお客様が看板を買いに来る時代は終わり、今は自らが動いて提案し売らなければいけなくなっています。そして、価格や提案といったライバルに勝てる武器を持っても使い方を知らなければ意味がありません。小笠原専務の次の一手は営業改革だそうです。株式会社金星堂は自らが変わること、看板業界の明日を切り開き未来を作っているように私は思いました。

(事務局 金澤)

## 研修会のご案内

共同求人研究会

### 平成23年度合同企業説明会

こんな時だからこそ求人においても穴埋め的な(戦術)採用ではなく、企業の10年、20年後の形を考え、計画的な(戦略)採用を図ることが大切です。

ぜひともご参加下さい。

日時：平成23年4月16日(土)  
13:00~16:00

会場：四日市市商工会議所会館

参加費：年間60,000円

(今回のみのスポット参加は  
30,000円)

参加のお申込・お問い合わせは事務局までご連絡下さい。

## 企業リスク研究委員会

そうだったのか!

伊藤方一弁護士の

債権と倒産リスクのお話

~損をしない契約から

会社整理まで教えます~

日時：平成23年3月18日(金)

14:30~17:00

会場：同友会事務局4F会議室

講師：伊藤方一氏

くすの木法律事務所 所長

内容

- ・自社への支払い優先順位の上げ方
- ・取引先倒産時の債権回収が有利になる契約の仕方
- ・その他此处でしか話せない事など

参加費：4,000円

## 〈同友コラム〉

(有)エルフィンクリエイティブ 古村世哉

景気は回復基調か、2番底が待っているのか、世界で唯一のデフレ国日本が、緩やかなインフレに向かうのか、一部でうわさされるハイパーインフレの可能性は?

次なるバブルは環境・エネルギー革命か、ネットビジネスか?中国の脅威は?ドル大暴落はありうるのか?EU問題、食糧問題・・・数えればキリがない。また、不動産バブル、ITバブル、金融バブルと続いた後の負の遺産の本当の処理がまだまだできていないことが、あまり報道されていない。これは、ネガティブな方向に我々庶民が考えられないような情報操作のかなとも受け取れるのですが・・・いかがなものでしょう。

「良い経営者」「良い会社」「良い経営環境」創りを目指す同友会理念の中で、自らが創り上げるものとして当たり前なのは前2項ですが、良い経営環境もやはり自らが創り上げるものとしてとらえないと、遅いと言われるのではなにかと最近つくづく感じており、行動を始めている次第です。経営環境と言いますと、捉え方はいろいろあると思いますが、小生は経営環境「地元、日本

国内、業界内、同業者内の4つに絞って考えております。

経営環境づくりのために、地元では子育て支援や子供虐待防止、マザーズサロン併設求人などの女性(家庭)支援を、日本国内・業界内では、業界そのものの社会的地位を高め内需拡大と雇用の創出活動、少子化問題を改善してきたフランスの国策のように子を育てる女性支援施策の提案などを政府に対し行い実現するために動いております。

同業者内では、同業者で顧客を守ることを大前提とし、同業者での顧客の奪い合いを起ささないように啓蒙し、同業者同士の情報交換を密にし「本当に大切にされる店づくり」を現地現場から創り上げるため、同業者の協力関係を強化して実現していく事に取り組んでいます。

楽天の三木谷氏は、ネットモールを始めた当初、「あり得ない」とバカにされ続けたそうです。自ら営業に回り必死さを伝えるために企業訪問前に公園で筋トレをしたそうです。

いまこそ、信じた道を、地を這うような努力を積み重ねて行く時ですね。同友会でさらに自身に磨きをかけて行きたいと思えます。宜しくお願い致します。

## 各支部例会のご案内

### 桑名支部 3月例会

テーマ『すべてはお客様のために、  
今当社がすべき変化とは』

日時 平成23年3月1日(火)  
18:45~21:00

会場 桑名中央公民館

報告者 月城 熙城氏  
(株)東海環境サービス  
代表取締役

### 北勢支部 3月例会

テーマ『価格決定権を手にするために』  
~価格決定したければお客の売上を  
上げる!デフレをぶっとばせ!~

日時 平成23年3月16日(水)  
19:00~21:00

会場 四日市農協会館JA第1ホール

報告者 川嶋敏文氏  
クラタヤ(株) 代表取締役

### 中勢支部 2月例会

テーマ『地域資源活用の  
新たなビジネスモデルづくり』  
~キーワードは環境・地域・高齢者  
そして農業~

日時 平成23年2月23日(水)  
18:45~21:00

会場 カリヨンプラザ 外会議室

報告者 伊藤 朗氏  
西岡直人氏  
松本 浩氏

### 伊賀支部 2月例会

未定



### 南勢支部 2月例会

テーマ『やっぱり会社の魅力作り』  
~会社の夢を追うために、  
経営者としてやっていること~

日時 平成23年2月15日(火)  
19:00~21:00

会場 いせトピア

講師 市田淳一氏  
(株)東海テクノ 代表取締役

### 尾鷲・熊野グループ 2月例会

テーマ『自社の変革と今後の展望』

日時 平成23年2月17日(木)  
19:00~21:00

会場 尾鷲商工会議所 会議室

## 第10回理事会まとめ

### 1、各種報告事項

中同協幹事会及び中日本ブロック代表者会議の報告（略）

中同協全国事務局長会議の報告（略）

### 2、正副代表理事会議の報告

・次年度活動方針については、前回の追記部分を含め基本的に賛同が得られたことを確認しました。

また次年度活動テーマ（案）については、以下の通り承認されました。

23年度活動テーマ（案）

『激動を良き友に、自社の新たな形を創造しよう！』

～あなたの会社の強みはなんですか？～

活動テーマについては、新たなパラダイムへの転換が進む中、変化することを常とし、また先取りして取り込んでいくという前向きな姿勢を打ち出し、改めて自社の強みを確認し、その強みを活かした経営と企業革新に取り組むことを会員に呼び掛けていくこととしました。

### 3、各委員会の報告と提案

総務委員会

・12月度月次決算報告

第3四半期特別会計・監査報告（略）

・第29回定時総会について開催要項・会場レイアウト・総会予算案を確認しました。

・次年度理事役員予定者について、立候補及び推薦の結果、別紙内容を確認しました。

・立候補者の取り扱いや理事定数の規定などをはじめ規約・規定の見直しを図り、世代交代が進む中でもしっかりと組織形成が保てる内容に改定していくことを確認しました。また今後の立候補者の処遇についてのルール化を、代表理事・総務委員長・事務局長で取りまとめることとしました。

・記念講演講師については、講師（案）として提案された（株）希望荘/山本社長及び（株）サノプランニング/佐野社長の両氏に地域戦略を軸として取り組まれている経営

展開について講演をお願いすることとし、対談形式にて行なうことを申し合わせました。そのため記念行事（記念対談）の時間を対談と質疑応答のみの2時間とし、懇親会の前半1時間をバズセッションの時間に充てることとしました。

・次年度予算（案）については、慶弔費予算を半減することとしました。

経営労務委員会について（略）

経営者の共育ち委員会について（略）

企業リスク研究委員会について（略）

### 4、入退会者の承認（略）

### 5、前回理事会以後の活動報告（略）

#### 新会員のご紹介（敬称略）

（22.12.15～23.1.20）

おくの かつゆき  
奥野克幸（株）PS Farm

伊勢市楠部町248-1

代表取締役

0596（63）8230

業種 電気・電子・自動車・機械類等工業製品の中国規制への対応サポートサービス

南勢支部 紹介者：菱田幸子

#### 採用に役立つ事業のご案内

##### 業務適性診断テスト

業務適性診断テストは、求職者の外面に現れる性格と内面の性格を見るものです。検査結果からはどのような仕事に向いているかがわかり、特に採用時に面接だけではわかりにくい点を判断する材料として最適です。

検査料 1人 1,400円（用紙、検査料）  
（共同求人研究会参加者は、1,000円）

##### 知的能力診断テスト

知的能力診断テストでは検査の結果から言語理解力や推理力、表現力といった事がわかります。求職者の持っている能力や資質を判断するのに最適です。

検査料 1人 1,200円（用紙、検査料）  
（共同求人研究会参加者は、800円）

